

岸和田市立城東小学校  
 指導者 綾井 奈美  
 日時 令和7年11月6日(木)  
 第5時限(13:40～14:25)  
 学年・学級 1年1組(33人)

## 1. 単元名

『かたちあそび』

## 2. 単元の目標

身の回りにあるものの形について、基本的な立体図形の特徴や機能をとらえ、立体図形についての理解の基礎となる感覚を豊かにしながら、立体図形の形に着目して特徴や機能をとらえたり、構成や分解を考えたりする力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。

## 3. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身の回りにあるものの形について、その概形や特徴、機能をとらえたり、構成や分解をしたりするとともに、図形についての豊かな感覚をもっている。	身の回りにあるものの形に着目し、図形の特徴や機能をとらえたり、構成や分解をしたりして、表現している。	身の回りにあるものの形について、観察や構成、分解したり、形の特徴や機能をとらえたりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

## 4. 教材の取り扱い

### 教材観

本単元は、児童にとって初めての図形学習になる。「四角い形」「三角のおにぎり」のどの漠然とした認識から、一般化して図形をとらえることができるようにする。

立体作品をつくったり、大きさの違う立体図形や、面の形が違う立体図形に触れ、操作しながら比べていくことで、

### 児童観

本学級の児童は、休憩時間に切り紙をしたり、色紙を切って組み合わせたりして作品を作るなど、日頃から図形に親しんでいる児童が多い。身の回りの物をカメラで映し、体に見立てて顔を書きこむ「にこちゃんさがし」には意欲的に取り組み、形をとらえることができていた。図工で粘土を扱った際には、粘土板を紙に見立て、平面で表現する児童が多くみられた。立体図形の面を

学習した内容を日常生活に活用する 至っていない

### 指導観

第1時では、様々な箱や容器を材料にして、組み立てたいものを自由につくる活動

## 5. 指導計画(全4時間)

- 第1時 かたちをつくろう(立体作品をつくる)  
 第2時 そっくりさんをおつめよう(分類する)  
 第3時(本時) ぴったりさんを見つけよう(特徴や機能をまとめる)  
 第4時 がくしゅうをふりかえろう

## 6. 本時の計画

### (1) 目標

立体図形を構成する面の形に着目して、平面図形を見だし、説明することができる。

### (2) 本時の評価規準

身の回りにあるものの形について、概形や機能、特徴から分類し、言葉や具体物を用いて説明することができる。

### (3) 本時の判断基準

十分満足できる状況 (S)	おおむね満足できる状況 (A)	努力を要する児童への支援
身の回りにあるものの形について、概形や機能、特徴を多面的多角的にとらえて自分なりに分類し、言葉や具体物を用いて説明することができる。	身の回りにあるものの形について、概形や機能、特徴から分類し、言葉や具体物を用いて説明することができる。	身の回りにあるものの形について、概形や機能、特徴から分類することができていない。 →前時で作った立体作品の、材料の特徴や機能が活かされた部分を指摘することで、ものの形に着目することができるようにする。

### (4) 単元の学習の手引き

学習課題： かたちはかせになろう

S： 「〇〇にぴったりなかたち」をかんがえだし、かたちのとくちょうをせつめいすることができる。

A： ぴったりなかたちをみつけ、かたちのとくちょうをせつめいすることができる。

問題発見： 〇〇にぴったりなかたちはどれだろう？

情報収集： にているものは？

どこかにているかな？

ぴったりではないものは？

整理分析： わける、くらべる、いろいろなほうこうからみる

表現発信： ぴったりだとかんがえたかたちのとくちょうをせつめいする

### (5) 学習内容

	S	A	B
導入 (全体) 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時の学習を振り返る。</li> <li>○本時の学習課題を確認する。</li> <li>○学習の手引きを確認する。</li> </ul>		

<p>展開 (フリー)</p>	<p>○身の回りにあるものの形について、概形や機能、特徴を調べる。</p> <p>①課題を1つ決める。</p> <p>②ワークシートに「けんきゅうするまえのかんがえ」を書く。</p> <p>③操作活動(複数人でしてもよい)</p> <p>④ワークシートに「けんきゅうしたあのかんがえ」を書く。</p> <p>⑤次の課題を決める。</p> <p>●「ころころけんきゅうじょ」いちばんころがるのはどのかたちだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールのかたち どこからみてもまるいから。</li> <li>・つつのかたち タイヤみたいだから。</li> </ul> <p>●「つみつきけんきゅうじょ」いちばんたかくつめるのはどのかたちだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さいころのかたち しかくでつみやすいから。</li> <li>・ながしかくのかたち さいころよりもながぼそいから、たかくつめる。</li> </ul> <p>●「まねっこけんきゅうじょ」みほんとおなじえうつしえをかくことができるのはどのかたちだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つつのかたち まるいところをしたにしたら、まるをかくことができるから。</li> </ul>	
	<p>提示した課題以外で「〇〇にぴったりなかたち」を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いすにぴったりなかたちはボールのかたちです。どこにすわってもいたくないからです。</li> </ul>	<p>立体作品でつけたものの形をみたり、さわったりして、ものの形に着目する。</p>
<p>振り返り (個人) 5分</p>	<p>○本時の学習の振り返りをする。</p> <p>○次時への見通しをもつ。</p>	

## 7. 板書計画

<p>ぴったりさんをさがそう</p> <p>S: けんきゅうじょいがい「〇〇にぴったりなかたち」を見つけ、かたちのとくちょうをせつめいすることができる。</p> <p>A: けんきゅうじょでぴったりなかたちを見つけ、かたちのとくちょうをせつめいすることができる。</p> <p>問題発見: 〇〇にぴったりなかたちはどれだろう？</p> <p>情報収集: にているものは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どこがにているかな？</li> <li>ぴったりではないものは？</li> </ul> <p>整理分析: わける、くらべる、いろいろなほうこうからみる</p> <p>表現発信: ぴったりだとかんがえたりゆうをせつめいする。</p>
--